



Music Performance Academy

MPA 長期プログラム生 M.Uさんの体験談 (ボーカル科)

私は、中学生の頃から兄の影響で洋楽に興味を持ち聴きはじめました。そんな中、高校2年生の時に Ray Charles という人物を初めて知りました。私は彼の音楽に衝撃を受けました。私の求めているものはこれだ！と確信し、黒人音楽の虜になりました。そして、卒業後は絶対にアメリカに行き黒人音楽を勉強したいと決心しました。

そして、念願叶い、高校を卒業後単身渡米しました。アメリカ、L.Aに上陸し、目の前に見えたのは、広く青い空、大きな道路、背の高いヤシの木、自然の色彩がとてもキレイでした。あの感動は忘れられません。

MPA ではみなさんととても温かく迎えてくれて、すぐに仲間と打ち解けられました。ちなみに未だにその仲間とは連絡を取り合い、日本で会ったり、お互いのライブに行ったりと交流があります。



そして、待ちに待った初レッスン。目の前にはでっかい黒人の女性。めっちゃテンション高い。ド迫力！！そう。日本にいるときから会いたくて会いたくてどうしようもなかった私の憧れの人、キャシーでした。キャシーは私の大好きな Ray Charles のバックコーラス Raylettes のメンバーです。キャシーに会って、アメリカに来た実感が沸きました。黒人独特の話し方、行動、テンション、全てが新鮮でたまらなかった。

キャシーとは週に一度のレッスン。恐かった。キャシーは中途半端な人が嫌いでした。私は、真剣にキャシーの全てを盗んでやろうという気持ちで授業を受けていました。キャシーは魂で教えてくれました。ある日キャシーが持ってきてくれた曲があまりにも心に響いてしまい思わず私は泣いてしまいました。キャシーは私のおぼつかない英語を真剣に聞いてくれて、私をぎゅっと抱き一緒に泣いてくれました。国籍も人種も宗教も文化も全て違うのに、こんなにも真剣に一生徒を思ってくれて、私は本物の人の心、魂に触れることができました。こうゆう純粋な魂を持っている人が素晴らしい歌を歌えるんだと改めて感じました。

もう一人、私の大好きな先生を紹介します。

MPA のスーパー先生、ビリーミッチェル。彼には本当にお世話になりました。彼は私のアメリカでの師匠であり、お父さんです。彼もまた魂で教えてくれる先生です。



ある日、レッスン中私は彼の前で泣き崩れました。ジャズが歌えないと。アドリブの世界であるジャズは自分の全てが出ます。私は自分に自信がなく、他人の目をととても気にしてしまう性格なので、自分の全てが出るジャズが歌いたくても歌えませんでした。ビリーは、私の全てをわかっていました。そして言ってくれました。『他人の目など気にするな、その一曲に集中しろ。その一つの曲でどうお客さんと気持ちをシェアできるかだけを考えて。』 その一週間後、ビリーが自分のステージに私を出させてくれました。そこで私は彼に言われた通り、おもいっきりその曲だけを考え、思い、感じて歌いました。目をあけると、お客さんがスタンディングオーベーションをしてくれていました。ビリーは『That's what I'm talking about!』と繰り返し言ってくれました。私はひとつ殻から抜け出した感じがしました。ビリーは本当に生徒を家族みたいに大切にしてくれる素晴らしい先生です。 また私にとっても家族みたいに大切な先生です。



MPAには他にも素晴らしい先生がたくさんいらっしゃいます。ひろき先生という唯一の日本人の先生がいます。彼にも大変お世話になりました。彼には日本語で本当に細かく専門的に発声法学びました。絵を使ったり、カラオケを使ったりと、楽しく、しっかりと理解して授業を受けることができました。この他にもまだまだステキな先生はいらっしゃいます。日米で活躍する先生なので、日本人が英語の曲を歌うときの壁をきちんと越えさせてくれます。

MPAのスタッフの方々もステキな方ばかりで、アメリカに10年以上住んでいてほとんどのことは知っているのととても頼りになります。生活面でもゼロから教えていただき、いつもやさしく私を支えてくれました。MPAは生徒が先生やスタッフととても近く、仲がよくアットホームな学校です。MPAでの時間は私の大切な大切な宝物です。

2008年12月 M.U